

| 資料番号 サブナンバー | 名 称 | 内 容 |
|----------------|--|--|
| 052153-0001 | DE I 設計・設備小委員会 第1セッション (1968/1/16-19) および関連資料 | ①第1回設計設備小委員会対処方針(案) A4、35p ②IMCO DE I /INF. 1 LIST OF PARTICIPANTS A4、6p ③第1回設計設備小委員会報告書(案) B5、11p(D・2の附番あり) ④小委員会資料、DE I /12、13、14 ⑤「危険物専用船研究会」のファイル (運輸省船舶局の要請により昭43/6/5 開催、委員長元良教授、D・1～D・6の付番あり、 ③はこの一部) |
| 052153-0002 | DE II 設計・設備小委員会 第2セッション (1968/10/8-11) および関連資料 | ①設計設備小委員会第2回会議、 設計設備小委員会報告 1968/10/10、B5、18p 1968/10/15、B5、14p(2通あり) および議事ノート、メモ ②日程表(日本の参加者) ③Questionnaire on information on manoeuvrability of ships over 50,000 tons deadweight A4、5p (DE II の決定により、日本が分担することとなった 操縦性に関するデータ収集のための質問状) ④IMCO事務局作成の公式資料 (議事予定、各国からの提案、議事録など、27件) ⑤タンカーの区画・油流出に関する資料のファイル ⑥タンカーの区画・油流出に関する資料、計算メモなど ⑦昭和44年度以降造船研究協会研究項目 危険物専用船の安全に関する調査研究案 B4、20p |
| 052153-0003 | DE III 設計・設備小委員会 第3セッション (1969/4/22-25) および関連資料 | ①IMCO第3回設計設備小委員会の対処方針に ついて、B5、2p、および議題概要、B5、5p、 (運輸省) ②設計設備小委員会第3回会議、 設計設備小委員会報告(案) 1969/4/24、B5、26p、および経過報告メモなど ③IMCO事務局作成の公式資料 (議事予定、各国からの提案、議事録など、49件) ④タンカー操縦性に関する日本の提出資料 「THE MANEUVERABILITY OF TANKERS IN VIEW OF COLLISION AND STRANDING AVOIDANCE」 A4、37p |
| | DE III 設計・設備小委員会 第3セッション (1969/4/22-25) および関連資料(続き) | ⑤E-valueに関する日本の提出資料 「CALCULATION OF THE EXPECTATIVE VALUE OF OIL OUTFLOW UNDER VARIOUS HYPOTHESES ON THE DISTRIBUTION PATTERN OF THE DAMAGE LENGTH」 A4、20p ⑥タンカー区画配置に関する資料 ⑦タンカー操縦性に関する準備資料 ⑧タンカー油流出に関する準備資料 ⑨E-valueに関する準備資料 |

| 資料番号 サブナンバー | 名 称 | 内 容 |
|----------------|--|---|
| 052153-0004 | DEIV 設計・設備小委員会 第4セッション (1970/1/19-23) および関連資料 | <ul style="list-style-type: none"> ①第4回船舶設計設備小委員会出席報告書、 昭45/1/23、B5、7p、 運輸省検査制度課栗山補佐官 ②IMCO事務局作成の公式資料、3件 ③「Stopping and auxiliary steering device for ships」ポーランド、グダニスク工科大、A4、5p ④「INFORMATION ON OIL OUTFLOW FROM A BREACHED TANK MODEL」 (IMCOの要請により日本が提出)、A4、7p |
| 052153-0005 | DEV 設計・設備小委員会 第5セッション (1970/11/16-20) および関連資料 | <ul style="list-style-type: none"> ①IMCO第5回設計設備小委員会対処方針 (案)、B5/B4、12p、および海上安全委員会 (10/6,7)での、大型タンカーのタンクサイズに 関する討議内容電信文、B5、6p ②第5回設計設備小委員会出席報告書、 昭45/12/1、B5、20p、 運輸省検査制度課斎藤補佐官、および会議メモ ③DEVの議題に対する日本提案、および関連資料 ④IMCO事務局作成の公式資料(43件) ⑤IMCO DE/V 危険物ばら積み船構造設備規則 原案概要、B4、14p(運輸省) ⑥「EFFECT OF UNDERWATER PARACHUTES IN REDUCING THE STOPPING DISTANCE」A4、6p ⑦「STRUCTURAL DESIGN REVIEW OF LONG CYLINDRICAL LIQUID-FILLED INDEPENDENT CARGO TANK BARGES」、 SHIP STRUCTURE COMMITTEE、1970、 B5、102p、 およびUSCGの刊行物 FEDERAL REGISTER、 Vol.35、No.38、1970 |
| 052153-0006 | DEVI 設計・設備小委員会 第6セッション (1971/2/1-5) および関連資料 | <ul style="list-style-type: none"> ①第6回設計設備小委員会出席メモ、A4、13p ②IMCO事務局作成の公式資料(61件) ③タンカーのタンクサイズに関する日本提案の 準備資料(多数) ④「IMCOの大型油送船のタンクサイズ制限問題に ついて」技術委員会、昭46/3/4、 A4、2p、㊟の印、および関連資料 ⑤東京タンカー(株)から元良教授に送られた、 大型タンカーのタンク配置などの資料 |

| 資料番号 サブナンバー | 名 称 | 内 容 |
|----------------|--|--|
| 052153-0007 | MSC 海上安全委員会 第23セッション (1971/3/9-19)、 などの資料 | <p>①MSC第15セッション資料(掘削リグ関係、3件、1967年1月)</p> <p>②会議予定(1968年7月～69年7月)</p> <p>③MSC第19セッション資料(タンク内構造部材の洗浄、1件、1968年12月)</p> <p>④MSC第21セッション資料(DEIVの報告書、危険物をばら積みする船の安全対策、1970年1月)</p> <p>⑤日本造船研究協会、第3基準研究部会 IMCO小委員会第11回(昭46/3/2)議事要旨 (MSC23セッションのための対策など)</p> <p>⑥MSC第23セッション出席メモ、A4、13pなど (油流出量とタンクサイズなどに関する)</p> <p>⑦MSC第23セッション、IMCO事務局作成の 公式資料(27件)、その多くはDEから上程された 油流出量とタンクサイズに関連するものであるが、 MSC XXIII/WP.12「DRAFT REPORT OF THE MARITIME SAFETY COMMITTEE ON ITS TWENTY-THIRD SESSION」によれば、 その他の幾つかのテーマについても討議した ことがわかる。</p> <p>⑧タンクサイズ関係の資料、多数</p> |
| 052153-0008 | イタリー-CETENAのタンカー 区画および油流出に関する 資料 | <p>イタリーのCentro per gli Studi di Technica Navale(CETENA)の論文・図面など。 DEの議長を務めたイタリーのSpinelli 博士から 元良教授に送られた。</p> <p>①A consideration on the possibility of comparison between a design subdivision arrangement of a tanker and a standard type subdivision arrangement 1969年2月、 A4、36p+32p</p> <p>②INFLUENCE OF DIFFERENT STATISTICAL AND PROBABILISTICAL HYPOTHESES FOR THE CALCULATION OF THE MOST PROBABLE VALUE OF THE OIL-OUTFLOW WITH REGARD TO THE TANKERS SUBDIVISION 1969年1月、A4、31p および付図、A4/A3、35枚</p> <p>③タンク配置図、A3、12枚</p> <p>④Subdivision of Tankers A4、3p (イタリーの作業計画)</p> <p>⑤送り状など</p> |
| 052153-0009 | オランダ・ロッテルダム、 ユーロポートに関する資料 | <p>オランダ・ロッテルダムにあるユーロポートと、 その関連の資料、1966～1969年頃のもの。 大半は現地オランダのものであるが、在オランダ 日本大使館作成のものもある。 IMCOとの関係は不明であるが、ロンドンでの会議の 帰路に訪問入手したとも考えられる。</p> |